



鶴の便り 鶴の便り

五十嵐七重さん講演(口演)会

第十九回語り部養成講座

七月八日(日) 午後一時
三十分より、夕鶴の里自主事
業実行委員会主催の語り部
養成講座の一環として「五
十嵐七重さん講演(口演)
会」が、夕鶴の里語り部ホ
ールで開催されました。

講師の五十嵐さんは、最初
に講演の中で地域に伝わる伝
承語りはその地域に残された
文化を残していくことにつな
がる。昔語りの活動はこの文化
を絶やさない為に続けている
という自身の活動に対する想
いをお話頂きました。

また、伝承民話を語る際に

夕鶴の里資料館報

平成30年7月20日

第 91号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

は、創作をしたり、文学的表
現を使うことはせずに聞いた
まま語らねばいけない。

その土地で生まれた人が、
その土地の民話を語るから意
味があるので、なるべく、地元
につたわる伝承民話を語って
ほしい。

現代の語り部が大切にしま
なければいけない事は、いい人生
を歩むこと。意地悪く生きて
いると意地悪な語りしかでき
なくなるので、皆さんはいい人
生を歩んでほしい。そして、
民話の話の中には宝物があり
ます。それは、先人が遺してほ
しくて残したもののなので、その
宝物を見つげるためには民話
を何度も読むことが大切で
すよ。と伝承民話を語る際のア
ドバイスをユーモアを交えてお
話してくださいました。

養成講座の受講生は今後の
語り活かししてほしいです。



楽しそうに口演される五十嵐さん。とても気さくで素敵な語り部
さんでした。参加者は37名。沢山の民話や、アドバイスを聞か
せて頂き有意義な講演会でした。

蚕からまゆになりました！

六月五日(火)から、飼育を
始めた蚕が、あつという間に成
長し真っ白できれいな繭にな
りました。

来たときはまだ小さくて、
一・五センチ程度でしたが、桑
の葉をモリモリ食べて脱皮する
たびに大きくなり、食欲も旺
盛で、なんと七センチまで大き
くなりました。繭になる時期
がくると桑を食べなくなる上
を向いて動かなくなります。そ
の蚕をマブシの上に乗せてあげ
ると好きな場所を探して繭に
なります。



〜民話語り部体験〜

山形大学地域教育文化部の三年生十二人が民話の語り部体験をテーマとした講座を受講しました。

開講式では、養成講座の講師を務める民話会ゆうづるの語り部が、方言で語りを披露した。学生たちは、閉講式で発表する民話を選んだ後、テキストを音読して、意味や発音を教わりました。そのほか、民話ゆかりの地を巡るツアーや機織り体験も行い、民話への理解を深めつつ、南陽の文化を学びました。

最終日の閉講式では、今まで練習してきた語りの成果を発表した後、講師の先生より講評を頂き、記念品（民話集）が一人一人に手渡されました。今回体験したことを今後の学生生活に生かしてほしいです。



民話ゆかりの地巡りでビッキ石に行ってきました。

ビッキ石（中川）

山形市畑谷の大沼に住む主の蛙が白竜湖の主になろうとやってきた。ようやく中川の川樋まで来たとき、草刈りをしていた人に道を尋ねると「白竜湖までは、十年坂と鳥しか通わないという鳥上坂を超えないといけないよ』という。ここまで来るだけでも苦勞したのに、まだ大変な場所を超えなければならないとは。と気が遠くなって座り込んだ蛙は、そのまま石になってしまったという。そんなお話が伝わっています。

上山市の「子供の城保育園」の園児が見学に来てくれました。園児が着ているのは、5種類の鶴の絵が描かれたTシャツ。左から「舞鶴」「いちょう鶴」「梅鶴」「三羽鶴」「つがい鶴」。このTシャツを着て「鶴の恩返し」の語りを聞いてDVDを観ることを楽しみにしながら、園児が自分で染めて作ったそうです。園児は楽しかった！と喜んで帰っていきました。



夕鶴の里のインフォメーションが新しく変わりました！

英語での案内表示もされ、外国の方にも分りやすくなりました。

ご利用案内	
開館時間	午前9時～午後4時30分
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館) 年末・年始(12月29日～1月3日)
入館料	一般 320円(270円) 小中学生 100円(50円) *1内は15名以上の団体料金 *身障者、およびその付添者は無料
体験予約	民話口演・機織は予約が必要です
電話	0238-47-5800

Information	
Open Hours	9:00 a.m. - 4:30 p.m.
Closed	Every Monday (When the Monday is a National Holiday we are open!) December 29 - January 3
Entry Fee	Adult 320yen(270yen) From 6 to 15 years old 100yen(50yen) *1 Group fees apply for 15 persons and more *Free entry is available to those with disabilities and their helpers.
Reservations	You must make prior bookings for the oral narrations and weaving.
Telephone	0238-47-5800

夕鶴の里
資料館・語り部の館
YUZURUNOSATO MUSEUM